金足農業高等学校同窓会　関東支部

金農東京同窓会　会報「金農だより」

令和8年7月号
KANTO BRANCH NEWSLETTER

会長就任挨拶



会長　長谷川　寿

このたび、金足農業高校同窓会関東支部の会長を拝命いたしました。昭和60年農業土木科卒の長谷川寿と申します。歴史と伝統ある本会の運営に携わることとなり、身の引き締まる思いでおります。

日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜っております皆様に、心より御礼申し上げます。先輩方が築いてこられた本会は、会員相互の親睦を深めるとともに、母校の発展を支える大切な役割を果たしてまいりました。その歩みを受け継ぎながら、今後もその価値をさらに高めていきたいと考えております。

一方で、社会環境の変化に伴い、同窓会のあり方も見直しが求められる時代となっております。特に情報発信の手段や運営の効率化は重要な課題であり、より多くの会員の皆様に参加していただけるよう、時代に即した取り組みを進めてまいります。その一環として、ホームページの整備など、新たな情報発信の充実にも力を入れていく所存です。

同窓会は、年齢や立場を超えてつながることのできる貴重な場です。関東においても、会員同士の交流を深め、互いに支え合える関係を築いていけるよう努めてまいります。

微力ではございますが、本会の発展のため誠心誠意取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年7月吉日
金農東京同窓会　会長　長谷川　寿

校長就任挨拶



校長　久米　信彦

金農東京同窓会の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年度の本校野球部の甲子園出場に際しまして、多大なるご支援を頂戴いたしました。重ねて御礼申し上げます。

この四月に校長として赴任しました久米と申します。来年秋の新教室棟・管理棟の完成、そして再来年度の本校創立百周年を控え、身の引き締まる思いで赴任してまいりました。どうかよろしくお願いいたします。

私事になりますが、平成二十三年度から平成三十年度までの八年間、本校で教諭として勤務させていただきました。当時の本校には秋田県高等学校野球連盟の事務局が置かれ、私は校務のほかに県高野連事務局の仕事を担当していました。中泉一豊監督が平成二十七年度に本校に赴任してからの四年間は野球部長としての任も仰せつかることになりました。

部長として三年目の平成二十九年夏の甲子園県予選では決勝戦まで進出しました。現在、金農野球部の代名詞となった「全力校歌」が生まれたのは、その大会でのことでした。当時のチーム・スローガン「徹底」のもと、全力で校歌を歌うことを安田廣郎主将のもと、選手間で決めたのです。

しかし、勝利するたびに、胸をのけぞらせ、全身から声を絞り出して歌う姿は必ずしも周囲からの支持を得ていたわけではありません。学校には「校歌はもっと厳粛に歌うべきである」という苦情の電話が何本もありました。しかし、当時の鈴木誠孝校長は「あの子たちが、魂を込めて一生懸命に歌う姿を見て涙が出た。一同窓生として、誇りに思う」と話してくださいました。

本校では毎年、一年生の校歌練習が行われます。今年は四月二十日から四月二十四日にかけて行われました。最終日には皆、歌詞を見なくても歌えるようになりました。

本校の校歌には「農」に対する深い愛情と決意、そして神聖な「農」に携わることの誇りについて、その思いが込められていると私は解釈しています。

この素晴らしい校歌を、厳粛な中にも魂を込めて、同窓会の皆様と歌い続けていきたいと考えています。そして、それを今の生徒たちにも、しっかりと伝えていく必要を感じています。

結びに、本校は今後も皆様方の期待に応えられるよう精進・努力を積み重ねてまいりますので、なお一層のご指導・ご鞭撻を頂戴できれば幸甚であります。また、東京同窓会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

令和8年7月吉日
金足農業高等学校　校長　久米　信彦